

東北中央自動車道 おおいしだむらやま 大石田村山IC おほなざわ～尾花沢IC間
平成30年4月15日（日）に開通します。

国土交通省が事業を進めて参りました東北中央自動車道のうち、おおいしだむらやま 大石田村山IC おほなざわ（インターチェンジ）から尾花沢IC（インターチェンジ）までの延長5.3Kmが
平成30年4月15日（日）に開通する事となりましたのでお知らせします。

今回の開通によって、次の効果等が期待されます。

- 効果1：地域産業の活性化を支援
- 効果2：インバウンド観光振興を支援
- 効果3：地域救急医療活動の支援

1. 開通区間

東北中央自動車道 おおいしだむらやま 大石田村山IC ～ おほなざわ 尾花沢IC（延長5.3Km）
（山形県村山市大字土生田）（山形県尾花沢市大字尾花沢）

※大石田村山ICから尾花沢IC間は「無料」で通行できます。

※今回の開通区間は自動車専用道路となりますので、歩行者、自転車、軽車両、二輪車（125cc以下）は通行できません。

2. 開通日

平成30年4月15日（日）

※当日の開通時刻、開通式典等については、後日お知らせいたします。

3. 地域活性化IC*

おおいしだむらやま 大石田村山IC 交差道路名 おおいしだとちうだ 一般県道大石田土生田線

※地域活性化ICは、高速道路の有効活用を目的として、地方公共団体が主体となって追加ICの整備を行うものです。

<記者発表記者会：山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会、山形建設業界専門紙>

【 問 合 せ 先 】

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所

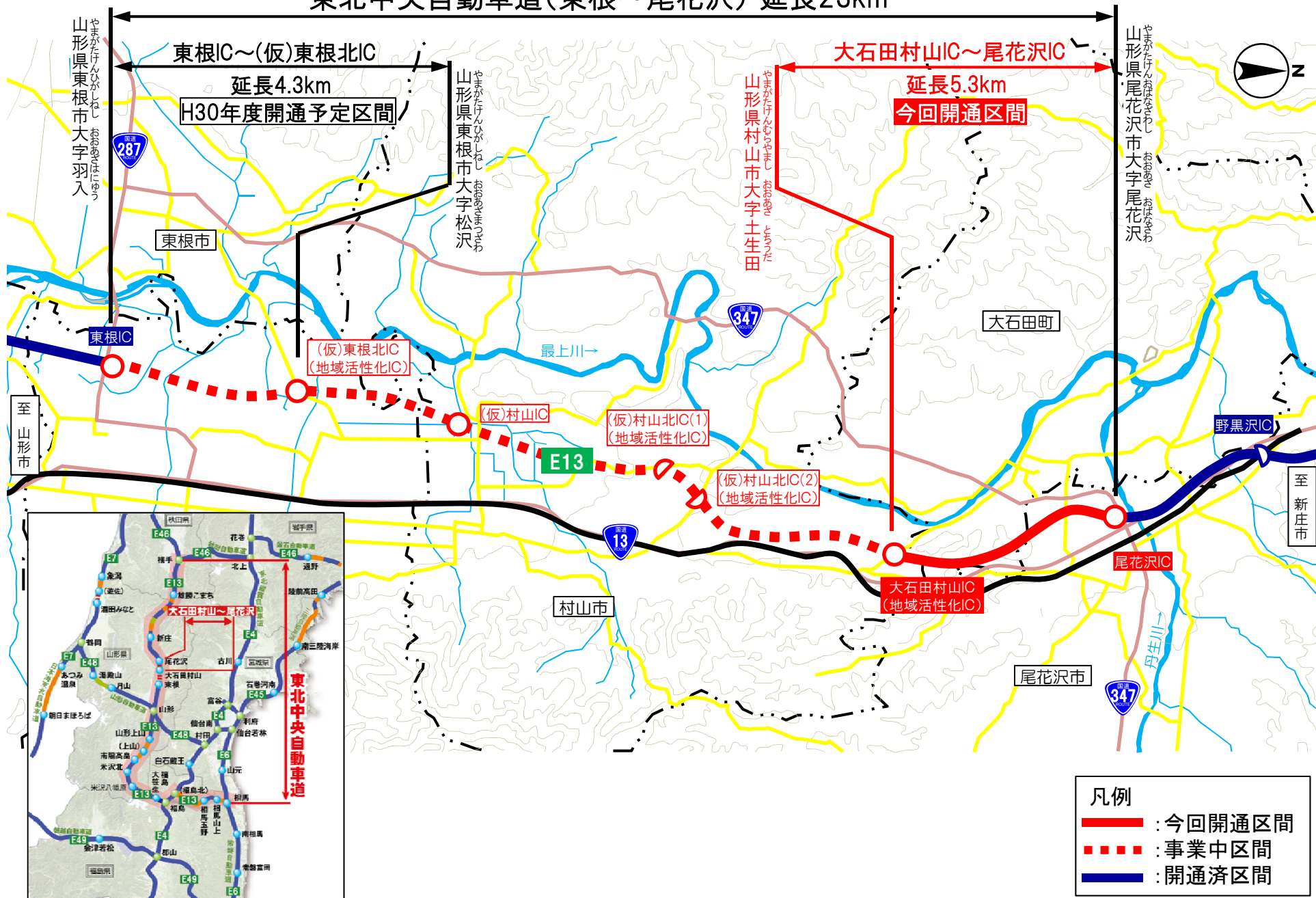
（道路担当）副所長

ち ば とみ ひこ
千 葉 富 彦

TEL 023-688-8421(代) (内線205)

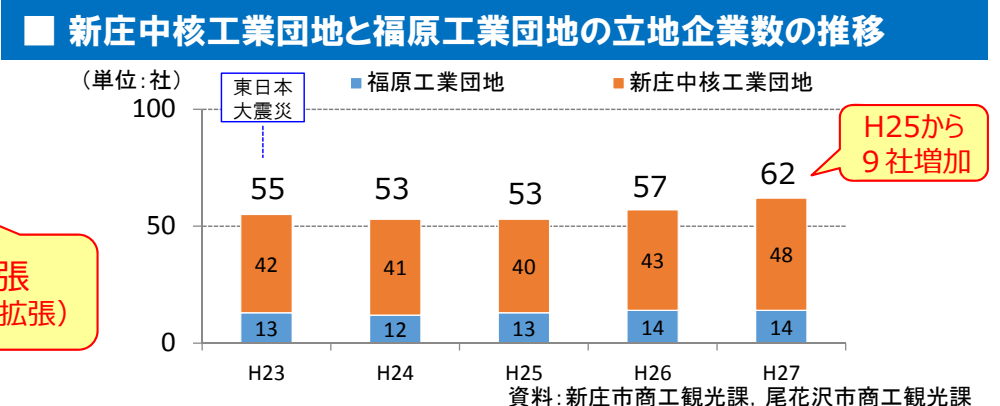
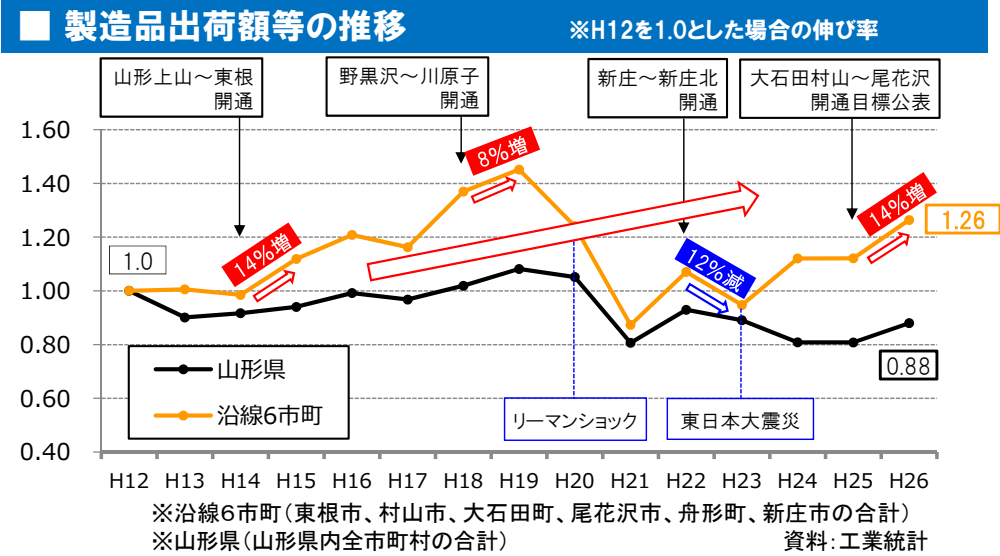
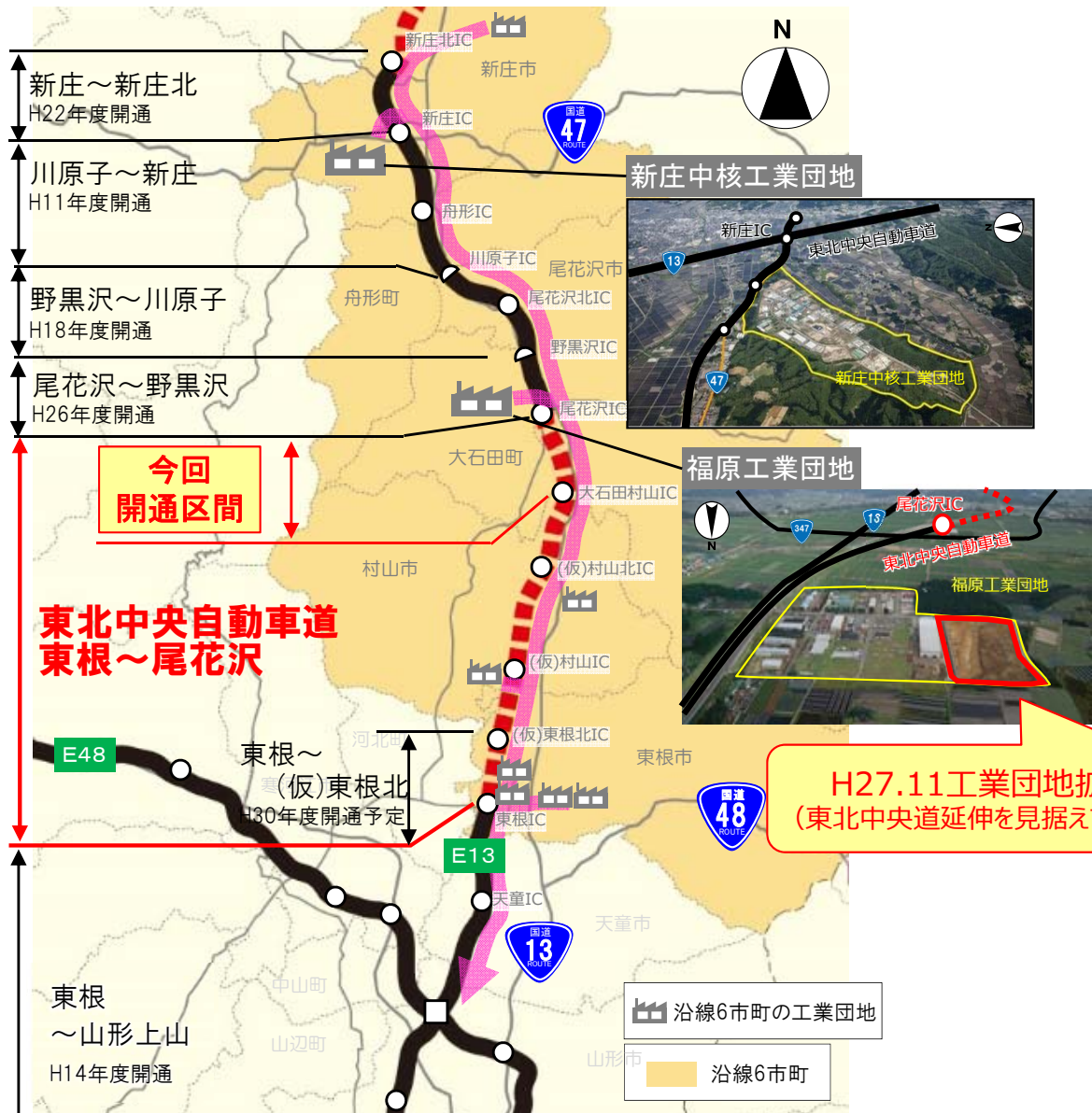
位置図

東北中央自動車道(東根～尾花沢) 延長23km



地域産業の活性化を支援

- 沿線自治体の製造品出荷額は、リーマンショック等で一時的な減少が見られたものの、東北中央道の延伸整備とともに増加傾向
- 東根～尾花沢の整備により、新たな企業立地の進展や商圈の拡大が図られ、地域産業の活性化を支援



- ### ■ 沿線立地企業の声
- 1日の出荷回数を2回から3回の頻度で輸送が可能となった。(精密機械加工業)
 - 今後の高速道路の整備による商圈拡大や生産規模拡大に期待。(ウレタン製品加工業)

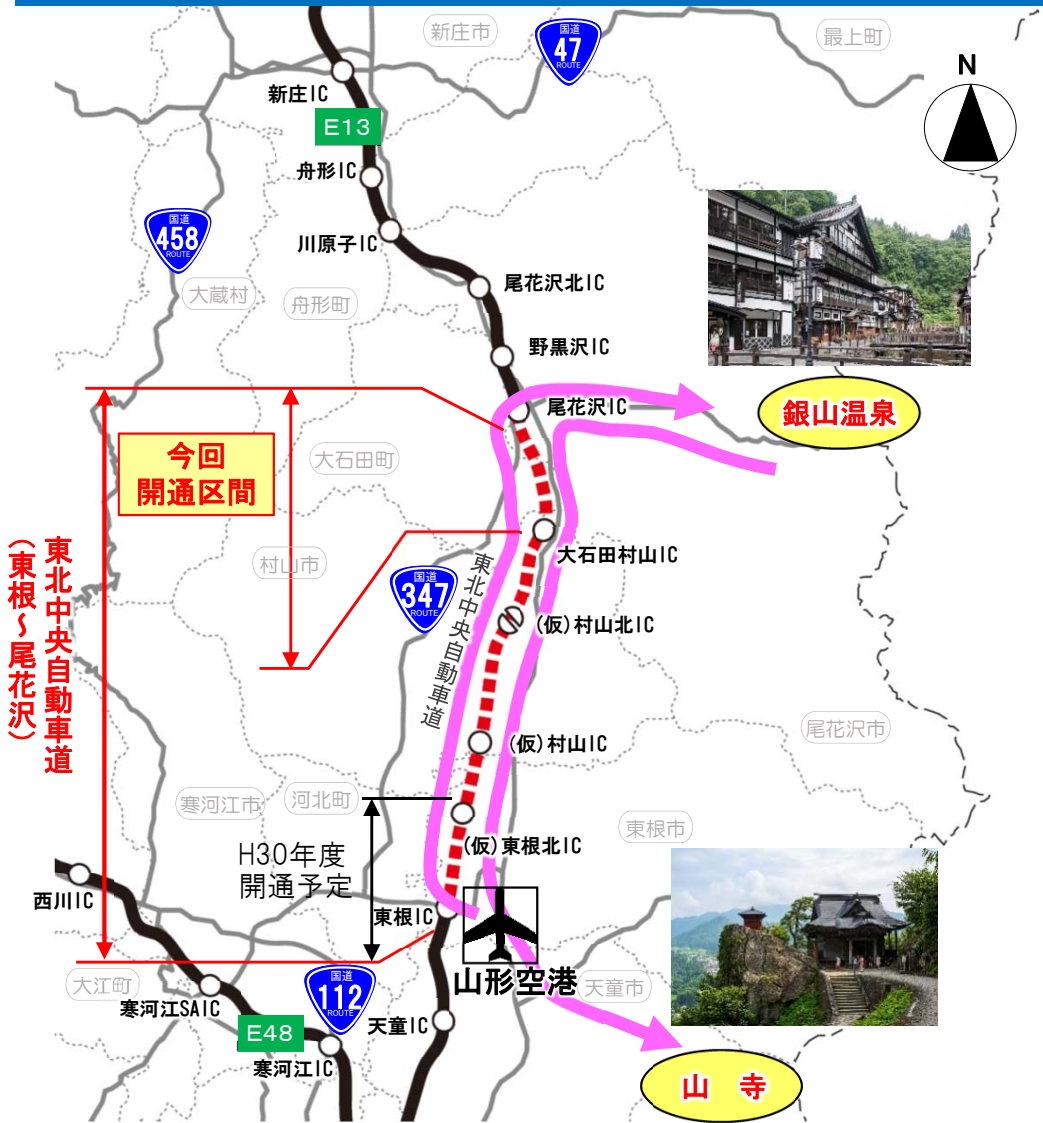
H27.11工業団地拡張
(東北中央道延伸を見据えて拡張)

H25から
9社増加

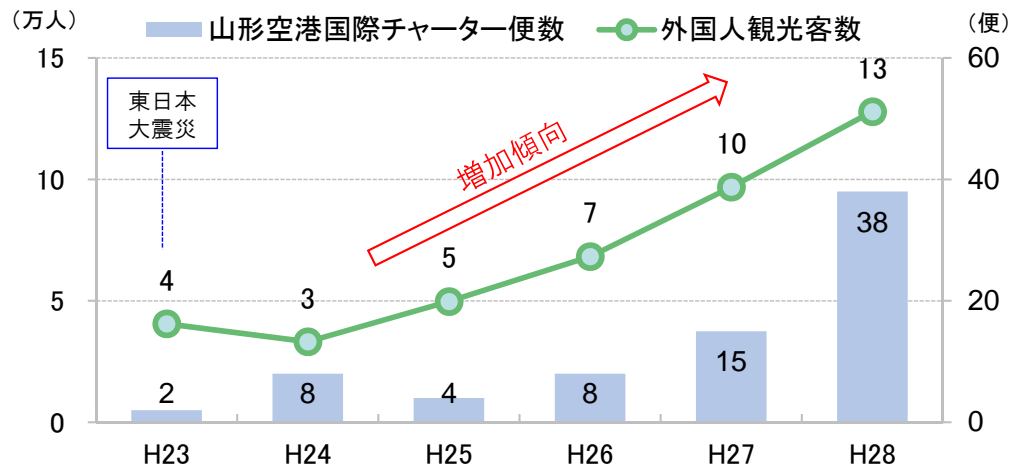
インバウンド観光振興を支援

- 山形県では、外国人観光客数および山形空港の国際チャーター便が増加傾向
- 東根～尾花沢の整備により、山形空港から観光地への移動時間短縮が図られ、滞在時間の延長等による観光消費額の増など、観光振興を支援

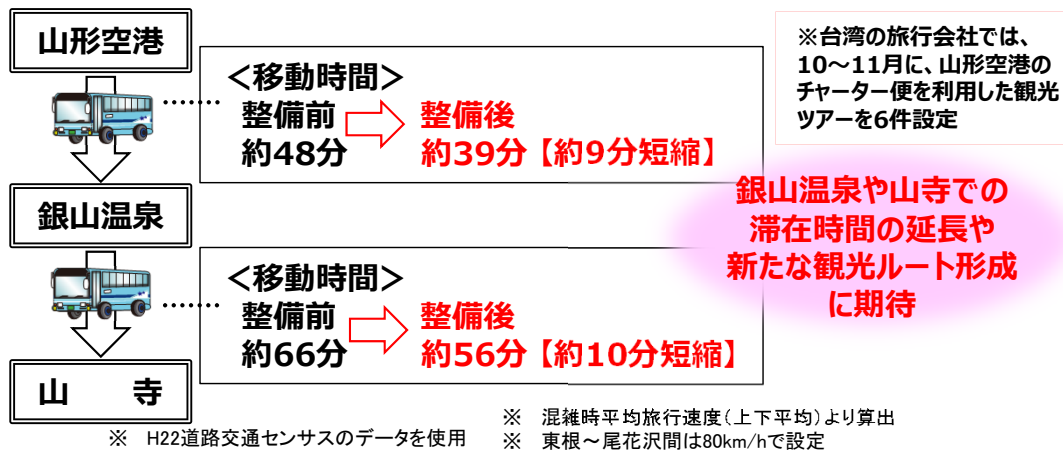
台湾発-山形空港着のチャーター便による観光ツアー例



山形県の年別外国人観光客数と山形空港国際チャーター便の推移



台湾発-山形空港着のチャーター便による観光ツアーの時間短縮

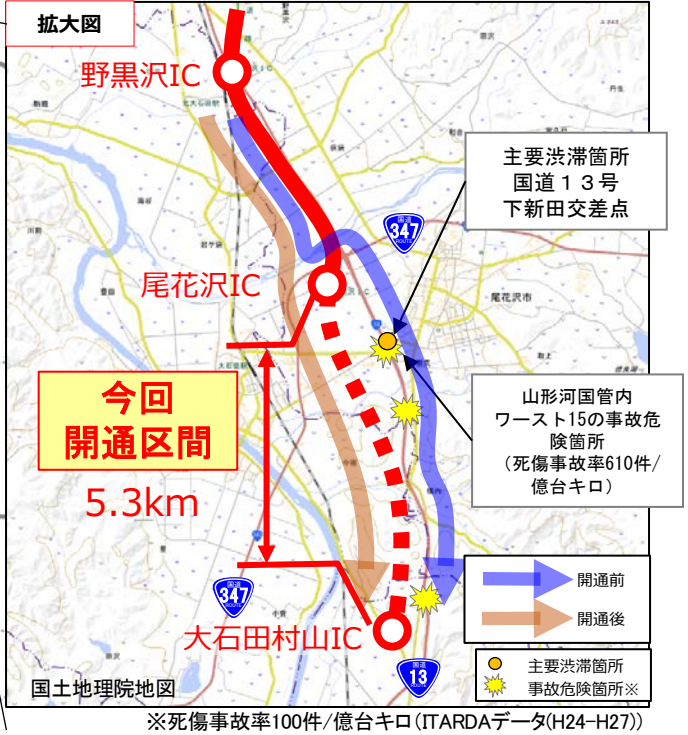
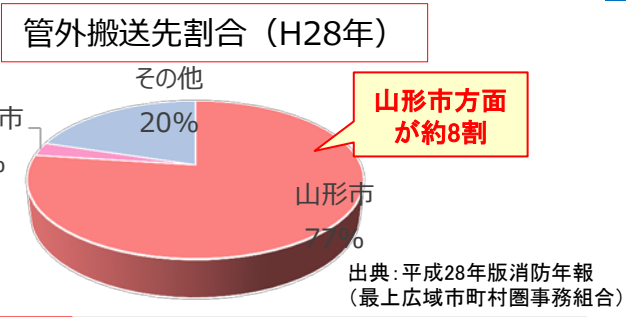
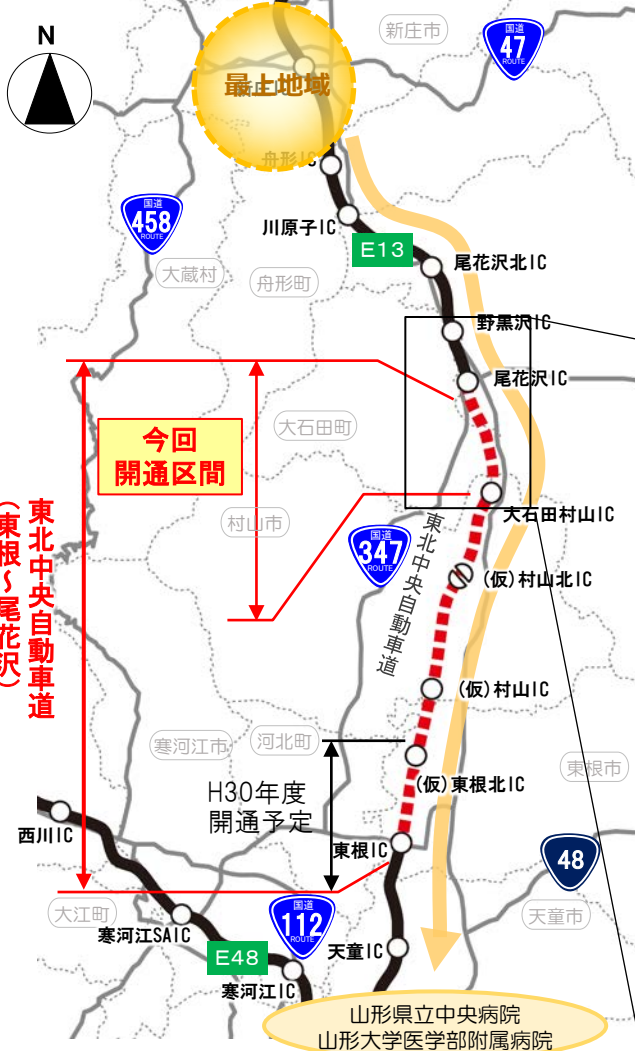


银山温泉観光案内所の声

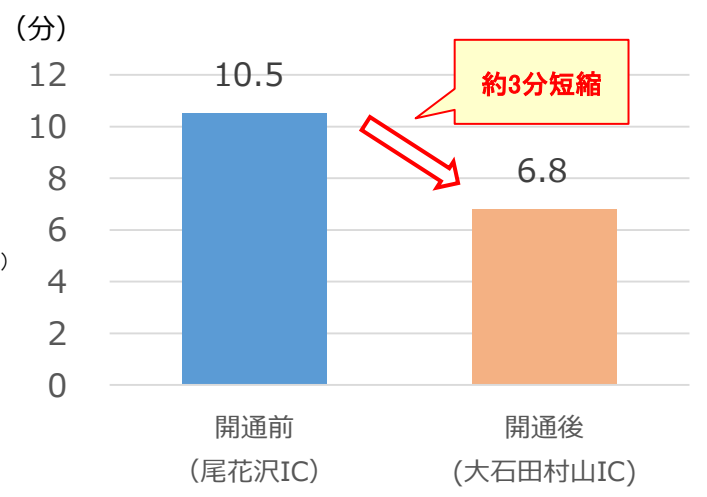
- 滞在時間の延長に伴い、温泉街の散策エリアの拡大や、立ち寄り店舗数の増加による地産品購入増が期待される。

- 最上地域には第3次救急医療機関が無く、重篤患者の約8割が山形市内の医療機関に転院搬送
- 大石田村山～尾花沢の開通により、主要渋滞箇所や事故危険箇所を回避し、迅速かつ安定的な搬送を支援

■ 最上地域の第3次救急医療機関への転院搬送



■ 開通前後の所要時間(野黒沢IC～大石田村山IC)



■ 最上広域市町村圏事務組合消防本部の声

●山形市内への搬送の際に大石田村山IC～尾花沢IC間が利用できるようになれば、**時間短縮**とともに走行の振動が減り、**患者への負担軽減**が期待されます。